

令和2年度（2020年度）
第75回北海道教育研究所連盟研究発表大会（上川大会）
兼第62回全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会



【美瑛「四季彩の丘」と大雪山連邦】

期 日 令和2年（2020年）8月28日（金）

会 場 配信側：北海道立教育研究所
国立教育政策研究所
受信側：教育研究所・センター及び勤務先等

主 催 北海道教育研究所連盟

主 管 上川教育研修センター

後 援 全国教育研究所連盟 北海道教育委員会

目 次

I	開催要項	1
II	運営次第	2
III	第17次共同研究経過報告	3
IV	記念講演	6
V	大会役員一覧	7

I 開催要項

1 目的

記念講演及び北海道教育研究所連盟共同研究についての研究協議を行うことにより、北海道教育の一層の充実・発展、並びに所員及び研究員、教職員の資質向上に資する。

2 主催

北海道教育研究所連盟

3 主管

上川教育研修センター

4 後援

全国教育研究所連盟 北海道教育委員会

5 期日

令和2年(2020年)8月28日(金)

6 会場

配信側：北海道立教育研究所 情報処理教育棟2階 アシリ
(〒069-0834 江別市文京台東町42番地 電話：011-386-4517)
国立教育政策研究所

受信側：教育研究所・センター及び勤務先等

7 実施方法

Web会議システム(Zoom)により、北海道立教育研究所及び国立教育政策研究所から各参加者に配信する。

8 参加対象

北海道教育研究所連盟加盟機関の所長及び所員、研究員、教育関係者等

9 日程

8月28日(金)

10:30	12:00	13:00	13:50	14:10	15:50	16:00
接続 テスト	A 所長研修会	休憩	B 全体会	休憩	C 記念講演(全体会)	閉会式

10 内容

(1) A 所長研修会

「コロナ禍における教育研究所・センター経営」に係るパネルディスカッション

(2) B 全体会

第17次共同研究に係る説明及び「新しい研修の在り方と学校への支援」に係るパネルディスカッション

(3) C 記念講演

演題 「教育研究所・センター所員の資質能力の向上に向けて～学びに向かう力等を育成するための指導と評価の在り方について～」

講師 国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部

総括研究官 二井正浩氏

Ⅱ 運営次第

【8月28日（金）】

A 所長研修会 10:30～12:00

- 「コロナ禍における学校経営及び研究所・センター経営」について

パネリスト	北海道立教育研究所長	鈴木 淳
	札幌市教育センター所長	紺野 宏子
	上川教育研修センター所長	福家 尚
	岩見沢市立教育研究所長	渡邊 強

B 全体会 13:00～13:55

- 第17次共同研究に係る説明及び「新しい研修の在り方と学校への支援」について

- | | | |
|---------------------------------------|---|---------|
| (1) 主催者挨拶 | 北海道教育研究所連盟委員長
(北海道立教育研究所長) | 鈴木 淳 |
| (2) 祝 辞 | 全国教育研究所連盟委員長
(国立教育政策研究所長) | 中川 健朗 様 |
| (3) 共同研究紹介 | 令和2年度共同研究推進委員会副委員長
(北海道立教育研究所研究・相談部研究研修主事) | 浅部 航太 |
| (4) パネルディスカッション「新しい研修の在り方と学校への支援」について | | |
| パネリスト | 北海道立教育研究所企画・研修部主査 | 松永 祐子 |
| | 上川教育研修センター研究員 | 小林 豊 |
| まとめ | 上川教育研修センター所長 | 福家 尚 |

C 記念講演 14:10～15:50

演題 「教育研究所・センター所員の資質能力の向上に向けて～学びに向かう力等を育成するための指導と評価の在り方について～」

講師 国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部

総括研究官 二井 正浩 様

● 閉会式 15:50～

Ⅲ 第17次共同研究経過報告

1 研究主題

「学びに向かう力の育成に向けた指導と評価の在り方」

(令和2～4年度)

2 研究のねらい

各教育研究所・研修センターが学校支援のために活用する、学習指導や学習評価に関する実践事例の収集・提供や参考資料の作成により、学びに向かう力の育成に向けた授業力の向上に資する。

3 研究内容及び推進計画

	研究内容 1 学びに向かう力の育成に向けた学習指導	研究内容 2 主体的に学習に取り組む態度を見取る学習評価
一 年 次 (令 和 二 年 度)	○ 「学びに向かう力」の育成を目指した指導例(単元指導計画、一単位時間の指導計画等)の作成 ・授業改善の視点を踏まえた授業実践例 ○ 各域内の学校の実践事例の収集 ○ 「指導案バンク」の作成	○ 「学びに向かう力」の育成を目指した評価例(単元指導計画、一単位時間の指導計画等)の作成 ・「知識・技能」「思考・判断・表現」に関わる児童生徒の学習状況と照らし合わせた「主体的に学習に取り組む態度」の評価事例 ○ 各域内の学校の実践事例の収集
二 年 次 (令 和 三 年 度)	○ 各域内の学校の実践事例の収集 ・授業改善の視点を踏まえた授業実践例 ・学習の進め方や学習の調整に関する指導実践例 ○ 「指導案バンク」の運営、普及・還元 ○ 指導資料(冊子等)の作成	○ 各域内の学校の実践事例の収集 ・「知識・技能」「思考・判断・表現」と関わる児童生徒の学習状況と照らし合わせた「主体的に学習に取り組む態度」の評価事例 ・評価の信頼性・妥当性・客観性を高めるための取組例
三 年 次 (令 和 四 年 度)	○ 各域内の学校の実践事例の収集 ○ 「指導案バンク」の運営、普及・還元 ○ 研究成果の普及・還元 ・指導資料(冊子等)のWebページ上での公開 ・全国大会での資料配付	○ 各域内の学校の実践事例の収集 ○ 研究成果の普及・還元
一 と 三 年 次 (共 通)	○ 夏季所員研修会における所員の力量向上 ○ Web上で提供する内容の共同研究推進委員会における情報共有 ○ 研究発表大会における研究発表及び協議	

4 共同研究 1 年次（令和 2 年度）の取組

- (1) 「学びに向かう力」の育成を目指した指導及び評価例（単元指導計画、一単位時間の指導計画等、以下「指導計画」）の作成

< 目的 >

新学習指導要領の趣旨に則った授業改善が求められるとともに、主体的に学習に取り組む態度の評価については、その進め方について教職員が十分理解できていない現状があることから、実践事例を含めた指導計画を作成・発信し、学びに向かう力の育成に向けた教職員の授業力の向上に資する。

< 取組の具体 >

- ・事務局による指導計画例を作成（小学校第 4 学年算数科、中学校第 2 学年国語科）
- ・各共同研究推進委員による指導計画の作成（1 人 1 単元）
- ・第 1 回共同研究推進委員会（6 月 30 日）における指導計画の様式及び作成上の留意点等に係る協議
- ・第 2 回共同研究推進委員会（11 月 17 日、Zoom 会議）及び第 3 回共同研究推進委員会（1 月 7 日）における作成した指導計画の検討・精査
- ・加盟機関相互の情報共有体制の構築に向けた、指導計画の「指導案バンク」（後述）への掲載

< 指導計画の様式 >

○校種・教科 ○作成した研究所・センター名 ○指導計画の特徴を表したキーワード
○単元名 ○内容のまとめ（学年・学習指導要領の内容）

- 1 単元（題材）の目標
- 2 単元（題材）の評価規準
- 3 指導と評価の計画
- 4 本時案
- 5 「主体的に学習に取り組む態度」の指導と評価の実際

※国語は 1 と 2 の間に「単元で取り上げる言語活動」

図工は 2 と 3 の間に「材料・用具」

< 「5 『主体的に学習に取り組む態度』の指導と評価の実際」に記載する内容例 >

指導の工夫例	評価の工夫例
○ 見通しを考える場面の設定と工夫 ○ 考えを記述したり話し合ったりする場面の効果的な設定 ○ 自らの理解の状況を振り返り、学習を調整することができる活動や発問の工夫 ○ 学習の結果に対する自己評価の工夫 ○ 児童生徒が試行錯誤を図ることができる場の設定 ○ 児童生徒の試行錯誤に対する教師の助言やコメント例 等	○ 「十分満足できる」状況（A）、「おおむね満足できる」状況（B）、「努力を要する」状況（C）と判断した具体例 ○ 評価メモの作成（観点、評価規準、時間、方法、評価） ○ 児童生徒のノートやワークシート、振り返り等の記述 ○ 観点別評価の総括の例 ○ 「努力を要する」状況（C）の児童生徒への手立て 等

＜令和２年６月30日開催 第１回共同研究推進委員会 協議結果＞

- ・作成する指導計画は、可能な限り学年や教科が偏らないよう考慮する。
- ・指導計画の作成主体については、各教育研究所・センターか個人かを特に定めていないが、可能な場合は所属する教育研究所・センターで内容を検討する。
- ・指導計画の枚数は指定しないが、増やしすぎないように留意する必要がある。
- ・指導計画の時数は、教科書会社等が出している計画を基準に１時間程度の差は許容する。各学校の年間指導計画との整合性を図ることが重要である。
- ・本時の展開に、吹き出し等で「指導あるいは評価の工夫」を端的に示すようにする。
- ・指導計画の５「『主体的に学習に取り組む態度』の評価の実際」については、問題・学習課題・導入・発問・ループリック評価、思考ツールの活用等、例示されていない内容を扱ってもよいこととし、様々な工夫の中から作成者が焦点化して作成する。

(2) 各域内の学校の実践事例の収集・「指導案バンク」の作成

＜目的＞

実践事例を収集し加盟機関と情報を共有することを目的に、作成した指導計画等を全道の加盟機関で共有する「指導案バンク」を道研連ホームページ上に設置する。

＜取組の具体＞

- ・道研連ホームページ上に「指導案バンク」を作成（※作成中）
- ・「指導案バンク」は、次の２種類を想定

①学びに向かう力の育成に向けた指導計画	②研究会等の実践
○ 共同研究推進委員が作成した、学びに向かう力の育成に向けた指導計画を全道で共有	○ 各教育研究所・センターの紀要等に載っている指導案のデータを、指導案バンクに掲載し、全道で好事例を共有

※②については、過去の指導計画にとどまらず、令和２年度以降に行われる研究会の指導計画についても収集する。

※新学習指導要領の内容を扱っている指導計画については、②として提出されたものでも、①に当てはまると事務局が判断する場合は、①の指導案バンクに含める。

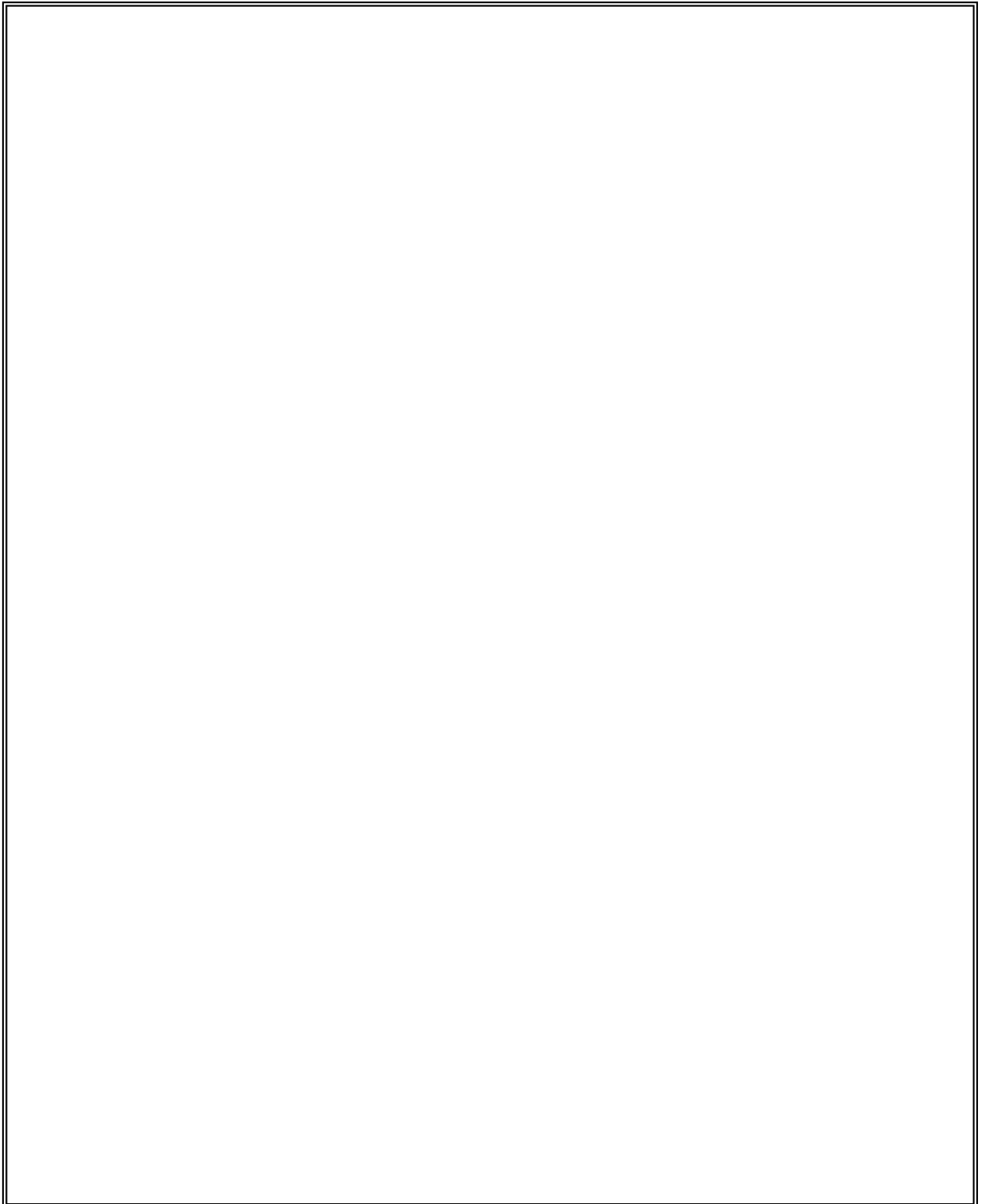
※研究会等の実践の収集については、研究発表大会以降に、各加盟機関に協力を依頼

Ⅳ 記念講演

「教育研究所・センター所員の資質能力の向上に向けて～学びに向かう力等を育成するための指導と評価の在り方について～」

講師 国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部

総括研究官 二 井 正 浩 氏



V 大会役員一覧

大会長	鈴木 淳	北海道教育研究所連盟委員長（北海道立教育研究所長）
副大会長	紺野 宏子	北海道教育研究所連盟副委員長（札幌市教育センター所長）
	長谷川 誠	北海道教育研究所連盟副委員長（後志教育研修センター所長）

【北海道教育研究所連盟事務局】

事務局長	城戸 和彦	（北海道立教育研究所研究・相談部長）
事務局次長	渡部 道博	（北海道立教育研究所研究・相談部研究主幹）
	鶴田 純子	（北海道立教育研究所総務部事業課長）
事務局員	西井 直也	（北海道立教育研究所総務部事業課主査）
	大井 結厘子	（北海道立教育研究所研究・相談部主査）
	樋口 かおり	（北海道立教育研究所研究・相談部主任研究研修主事）
	浅部 航太	（北海道立教育研究所研究・相談部研究研修主事）
	浅野 寿紀	（北海道立教育研究所企画・研修部研究研修主事）
	長森 久志	（北海道立教育研究所附属情報処理教育センター研究研修主事）
	中元 徳寿	（北海道立教育研究所研究・相談部研究研修主事）
	三谷 玖未	（北海道立教育研究所研究・相談部研究研修主事）
	戸澤 卓真	（北海道立教育研究所企画・研修部研究研修主事）

【運営委員会】

委員長	福家 尚	（上川教育研修センター所長）
副委員長	伊東 義晃	（上川教育研修センター副所長）
委員	森 走平	（上川教育研修センター指導員）
	斎藤 邦彦	（上川教育研修センター研究員）
	小林 豊	（上川教育研修センター研究員）

【令和2年度(2020年度) 共同研究推進委員会】

委員長	小林 豊	（上川教育研修センター研究員）
副委員長	浅部 航太	（北海道立教育研究所研究・相談部研究研修主事）
委員	原田 益明	（後志教育研修センター研修部長）
	穴戸 暢宏	（檜山教育研究所員）
	本所 章宏	（胆振教育研究所員）
	杉澤 諭	（十勝教育研究所員）
	水口 拓真	（根室教育研究所主任所員）
	渡辺 心	（留萌管内教育研究所研究員）
	塚崎 亮	（札幌市教育センター指導主事）
	富樫 いずみ	（岩見沢市立教育研究所員）
	芳賀 均	（北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター員）
	三谷 玖未	（北海道立教育研究所研究・相談部研究研修主事）